

支部だより

2020/02/16 No.26 東京支部事務局

2020年JNP東京支部活動のスタート (定期総会報告)

1月18日(土)、2020年JNP東京支部定期総会が、ケンコー・トキナー中野に於いて、14:30から開催された。

議案は、4点・満場一致で承認され、東京支部2020年の活動がスタートしました。

定時総会は、会員32名中、出席者17名、委任状提出13名、欠席2名ということで成立を確認した後、議案の審議・承認が行われ、無事終了しました。

◆議案

- 1) 第1号議案 2019年事業報告
- 2) 第2号議案 2019会計報告および、監査報告
- 3) 第3号議案 2020年事業計画(案)
- 4) 第4号議案 2020年予算計画(案)

私が支部長を引き受けてから今まで、以下の支部運営方針を基に、支部運営を行って来ました。

これからの展開についても支部方針は継続しますが、2020年は、以下の方向で運営して行きたいと思っています。

◆支部運営方針

- ・和気藹々、写真を通じた楽しい交流(風景写真を通じたコミュニケーション)
- ・双方向による撮影技術の研鑽(各自の撮影技術の向上)
- ・自由な雰囲気、自由な交流が出来る支部運営(会員数最大30名程度)

◆2019～2020年のテーマ

- ・「JNP東京支部ここにあり!! さすがと言われる東京支部!!」を目指す。

◆2020年活動の重点

- 定例・特別研究会の充実、外部発表によ

る撮影技術のレベルアップ

- ・定例研究会、特別研究会での研鑽
- ・支部作品展での作品発表
- ・成果の外部(フォトコン、公募展等)への発表等

●JNP本部・他支部との交流によるコミュニケーション拡大

- ・定期総会、支部長会議への出席と交流
- ・関東5支部イベントの積極対応と交流
- ・他支部作品展訪問・鑑賞と交流 等

●外部発信による東京支部認知度向上

- ・「支部だより」による活動内容の発信
- ・FB活用による活動状況の発信
- ・JNPニュースへの投稿等

撮影技術のレベルアップに関しては、昨年と同様、プロ風景写真家・山口高志先生に講師をお願いし、年4回の定例研究会(講評会)を開催。また、広くプロの風景写真家の方々ととの交流による研鑽を目的とした特別研究会、作品展、撮影会等でのハイレベルな仲間との交流等を通し、写真に対する考え方、撮影技術の研鑽と各自の作品のレベルアップの機会づくりを進める予定です。

運営については、役員・役員をサポートする方々と共にメンバーの要望を取り入れながら、支部運営方針に沿いスムーズな運営をと思っています。

今後ともご協力のほどお願い申し上げます。なお、定期総会終了後、引き続き山口先生による新春講演「何気ない風景の中での作品づくり(プロ風景写真家の目のつけどころ)」また、「白木屋・中野北口駅前店」にて新年会が行われ、盛り上がりました。

(文責: 戸張真)

2020「冬の志賀高原撮影会報告」

「冬の志賀高原を撮る」をテーマに、2020年東京支部新春撮影会が開催されました。

- ・日程 : 2020年1月31日(金) ~ 2020年2月2日(日)

- ・ 撮影地 : 志賀高原周辺
- ・ 宿 泊 : 石の湯ロッジ (木戸池近く)
〒381-0401 長野県下高井
郡山ノ内町7148
TEL 0269-34-2421
- ・ 撮影地移動 : ワゴン車 (9人乗り)
- ・ 撮影ガイド : 佐久間玲子さん (プロ風景写真家を目指し、修行中の写真家)
- ・ 参加者 : 菅澤さん、渡邊 (勝) さん、
関水さん、高橋さん、
戸張 (伸) さん、戸張 (真) さん



(文責 : 戸張 真)

2020年「冬の志賀高原撮影会に参加して」

1/31~2/2 志賀高原で行われた東京支部冬の撮影会に参加しました。

今回の撮影会は、志賀高原・石の湯温泉にある「石の湯ロッジ」に泊まり、佐久間玲子さんのガイドで撮影を楽しみました。佐久間さんは沖縄県出身で志賀高原に魅せられプロ風景写真家になるため3年間ロッジで働きながら修行しているプロ写真家の卵 (自称) です。きれいなお姉さんで、優しくて親切、雪道も4WDワゴンをすいすい運転して案内してくれました。

初日は昼に集合。今年の志賀高原の積雪は例年より少ないようですが、現地ではたっぷりの雪、粉雪の舞う中初めてのスノーシューをつけて出発。

陽阪周辺の林の中に入り雪の中の木立や実のついた枝などの撮影を楽しみました。夕方はロッジ近くの平床周辺の雪景色を撮影後ロッジへ。

2日目は朝から雪が降ったりやんだりの曇り空。マイナス8度の冷え込みで一面霧氷になった平床での撮影からスタート。こんなにきれいに霧氷がつくことはめったにないそうです。朝食後は陽阪からリフトを乗り継いで横手山の山頂 (2300m) まで登りました。頂上の神社付近で雪景色を撮影後、スノーモービルで下りながら渋峠、のぞきなど冬は行けないところを通りながら、途中の撮影ポイント数ヶ所で撮影、陽坂に戻るまで撮影を楽しみました。

風が穏やかで寒く一日中霧氷がとけませんでした。夕方になるにつれ青空がのぞくようになり、蓮池の総合会館前まで猛スピードで移動。夕陽に染まる山々と雪景色を撮影し、満足してロッジへ。

3日目の朝は初めて快晴。陽坂リフト乗り場付近で雪を抱いた北信五岳を撮影し皆満足。石の湯温泉にもどり元湯の湯気がでているあたりで霧氷とからめて撮影し、朝食。

ロッジの食事は朝夕共にたいへん美味しく、ボリュームもあり皆大満足。フルコースに加えてサラダ、お鍋、大皿料理、飲み物などがバイキング方式で自由に取れるようになっており美味しいのでついつい食べ過ぎてしまいました。

さすが料理自慢の宿というだけありました。



志賀高原は若いころには、良くスキーに行った所また、紅葉が綺麗で毎年秋に撮影に行く所です。でも、冬の志賀高原の撮影は今回が初めて。写真修行中の佐久間さんによるガイド、スノーシュー、スノーモービルによる移動撮影も初めての経験。とても満足の行く素晴らしい撮影会でした。ただ、冬の撮影は、露出補正が難しく、特に曇り空に雪の白さをどの様にして出すか？皆悩みながら撮影をしました。成果は如何に???

佐久間さんは4月で修業が終わり志賀高原を中心としたプロの風景写真家としてガイドも続けるそうです。

また石の湯ロッジに来たいなと思いつつ帰路につきました。

参加者の皆様お疲れ様でした。

(文責：戸張伸子)

“私のお気に入り撮影スポット”

栃木県鹿沼市の「横根高原」(前日光牧場)の紹介です。

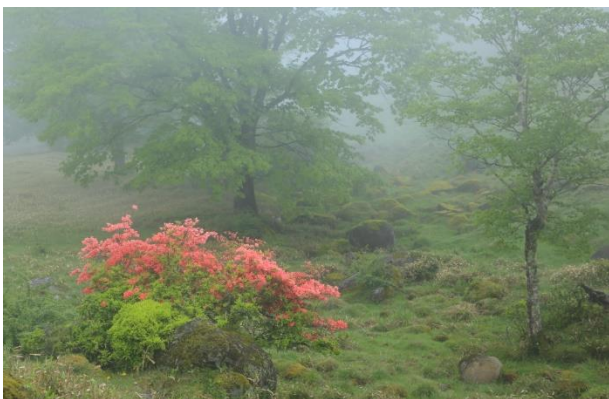
栃木県は、紅葉、滝、尾瀬等々、一流の被写体を有する県ですが、今回は日光市の南側に位置する鹿沼市の西端に位置し足尾町に隣接する粕尾地区が、紹介の場所です。

横根山(1,373m)の山すそに近隣の畜産農家が夏場に放牧する「前日光牧場」を含む一帯です。

私のお気に入りは、「ツツジ」です。5月上旬にアカヤシオ・シロヤシオ、中旬にミツバツツジ、下旬に山ツツジ、6月上旬にレンゲツツジが咲きます。ツツジと同時期に「ズミ」の木に白い花が咲きツツジとの対比が良いです。

牧場の柵内に立ち入りする事は出来ませんが、散策路から柵内に一株・二株と咲くツツジも周囲の樹木を取り入れた良い被写体になります。特に多くのツツジが咲くのは、散策路より「井戸湿原」の入り口から湿原周辺です。

山ツツジの咲く頃が、私のベスト時期です。



自生ですので、樹形もさまざま、高さもさまざまと色々なアングルが楽しめます。

湿原を囲むように咲き乱れたツツジは圧巻です

が、ポイントが絞れず勉強不足を痛感しています。横根高原が、私が撮影に適していると感じるのは、ツツジが咲くシチュエーションが多様、トップシーズンでも人が少ない、時期的に霧の発生が多い、立入りできない所が少ない、駐車場(無料)より近い、そしてトイレが数か所あるなどです。とにかく平日に訪れるのがベストです。



道順は、東北自動車道「栃木IC」料金場を出たら左折して、その県道32号線を直進、16kmほど進むとトンネルがありそれを出ると県道15号線との丁字路になります。そこを左折して30km位で「粕尾峠」頂上になりますので、そこを右折です。その県道58号線を4kmほど進むと右側に「前日光牧場」のゲートがありますので、そこを歩いていきます。牧場内の道を進むと駐車場があり更に進んで、ロッジ前の駐車場に止めます。その先は車輛進入禁止となります。

駐車場周辺から撮影ポイントになりますが、井戸湿原は、その道を徒歩10分ぐらい進むと左側に入り口があります。

粕尾峠より県道58号線に入ったら両側を注意して見て進むと木々の間にツツジやズミの白い花が見えますので、車を止めて入っていくのも良いかと思います。私は遭遇しておりませんが、イノシシが多いとの事なので、鈴など音の出るものを念のため携帯する必要があります。

素人の私が、撮影地の紹介などと大変はかしいですが、これからツツジのシーズンとなりますので是非、訪れてみて下さい。

標高1,300m位あり霧が出ると肌寒いので、ご注意ください。

(文と写真：淵江 昂喜)

2020年JNP本部・全国支部長会、 定期総会（開催予定）

2020年3月7日（土）、京都「ホテル京阪」にて、JNP全国支部長会議・定期総会が行われます。

東京支部からは、本部監事：紀田さんと私が出席予定です。

全国支部長会議では、支部長がグループに分かれ意見交換が行われます。

今回も、幾つか議題はありますが、メインとしては、以下の2点をテーマで意見交換が行われる予定です。

- ・高齢化への対応
- ・運営のマンネリ化防止対応

写友広場

●隔月刊誌「風景写真 2020. 1-2」

単写真優秀作品 藤野治雄「黎明」

●山本一先生（JNP名誉会長）写真展

定例研究会でお世話になった山本一先生の写真展「弥生尽」が開催されます。

- ・開催日：2020. 3. 11（水）～3. 23（木）
- ・開催場所：リコーイメージングスクエア 新宿
- ・開催時間：平日 10時30分～18時30分
火曜日定休
最終日：16時まで

●関東5支部合同セミナー

- ・開催日：2020. 4. 19（日）
- ・開催会場：地球市民かながわプラザ（あーすプラザ）5階映像ホール
（注）JR根岸線「本郷台駅」下車
徒歩3分
- ・開催時間：13時～17時

現在、メンバー・紹介者を含め、東京支部からは約25名の参加予定です。まだ、申し込み締め切りに間に合いますので、参加申し込みの連絡をお待ちしています。

セミナーの中で、講師・萩原先生の講評プログラムが盛り込まれており、支部代表として須賀尾さんが発表されます。

皆さん、会場は少し遠いですが、是非、都合をつけ参加ください。

東京支部事務局代行より

今年の気候は異常・・・いや、今年だけでなくこの様な気象の変化が通常になるのではとも思われます。

地球環境の変化は思ったより早いなと感じています。

我々風景写真を趣味としてみた、仕事にしている仲間にとって、気象条件の変化を如何に予測し撮影に反映させて行けるかが重要なポイントであります。

地球環境の大切さを全世界の人びとが実感しつつある状況の中、国として、JNPとして、支部としてまた、個人としてもどの様に対応して行くべきか？が大きな課題となっています。

小さなことからでも良い、何か出来ることが無いだろうか？

さてさて、今年の雪不足・・・どの様な影響が出てくるか？桜をはじめ多くの花々、新緑、夏の暑さ、紅葉の時期はどの様になるのか？予測もつかない。季節の変化をどの様に捉え、作品づくりを行うか？

山口先生がおっしゃっている様に「時期々々に応じ、何気ない風景の中で感動を形にし、個性的な作品づくりを行うか？」つまり、目のつけどころを変化させ、広げていくかが課題となるのでは？？と思います。

追伸：前号（支部だより NO. 25）より「写友広場」への皆様からの情報提供をお待ちしています。また撮影の体験談や写真もしどしお寄せ下さい。

（事務局代行：戸張眞）